

令和8年度
建設業社会貢献活動推進月間中央行事

功労者表彰受賞者一覧・受賞事例概要

令和8年7月22日
一般社団法人 全国建設業協会

目次

1. 建設業の社会貢献活動と中央行事について	1
------------------------	---

2. 受賞者一覧	3
----------	---

社会貢献・SDGs功労者表彰	3
----------------	---

広報功労者表彰	5
---------	---

3. 受賞事例概要	6
-----------	---

社会貢献・SDGs事例概要<<第3条(協会・支部)>>	6
-----------------------------	---

社会貢献・SDGs事例概要<<第4条(会員企業)>>	10
----------------------------	----

広報活動事例概要<<第3条(協会・支部)>>	15
------------------------	----

広報活動事例概要<<第4条(会員企業)>>	16
-----------------------	----

1. 建設業の社会貢献活動と中央行事について

企業の社会的責任（CSR）とは、企業活動において経済性の追求や法令遵守にとどまらず、環境への配慮や社会的倫理への対応を組み込み、さまざまなステークホルダー（利害関係者）に対する説明責任を果たすことにより、社会からの信頼を獲得し、事業の持続的な発展を目指す取組です。建設業は、社会資本の整備を通じ、「国土の保全」、「地域の安全・防災」、「利便性の高い暮らし」などを実現し、社会に大きく貢献してきました。

本会傘下の各都道府県建設業協会及び会員企業は、地域の基幹産業である建設業の社会的責任と使命を強く認識し、地域経済の活性化や雇用の確保に貢献するとともに、国・地方自治体との災害協定に基づき、災害発生時には住民の安全・安心を確保するため、昼夜を問わず応急復旧活動に取り組んでいます。しかしながら、このような地域建設業の取組については、国民や社会に十分認知されているとは言い難い状況にあります。

このため、本会では、平成18年度より毎年7月を「建設業社会貢献活動推進月間」と定め、期間中の活動の一環として、各都道府県建設業協会及び会員企業と連携し、地域建設業が実践している幅広い社会貢献活動及び広報活動を国民・社会に広く発信するため、毎年中央行事を開催しています。中央行事では、各地で実践されたさまざまな社会貢献活動及び建設業のイメージ向上に資する広報活動について、各都道府県建設業協会を通じて広く募集しています。優れた活動事例については、全建表彰規程に基づき、表彰部会による厳正な審査・選考を経て功労者表彰として顕彰しています。

このたび、令和8年度の中央行事の開催にあたり、各都道府県建設業協会から、さまざまな社会貢献活動、SDGsに関する取組及び広報活動についてご推薦いただきました。その結果、表彰部会において厳正な審査を行った結果、建設業協会・支部等を対象とした社会貢献・SDGs活動については第3条で15事例、会員企業を対象とした活動については、第4条で20事例、また広報活動については第3条で4事例、第4条で10事例が選定され、計49事例の受賞が決定いたしました。

○表彰について

◆本会会員(各都道府県建設業協会)に対する表彰

全建表彰規程第3条1号「積極的に社会貢献活動等に努め、他の団体の模範となる会員」に基づき表彰

◆地方協会の会員(会社又は個人営業所)の社会貢献活動等に対する表彰

全建表彰規程第4条5号「積極的に社会貢献活動等に努め、その功績が顕著な会員」に基づき表彰

◆活動の期間等

令和7年4月1日から令和8年3月31日までの期間において、主体的かつ継続的に、原則として3年以上実施された事例を対象とします。

◆社会貢献活動等の内容

○ 社会貢献・SDGs功労者表彰

◆災害復旧・防疫活動

自然災害（地震、台風、豪雨・豪雪等）における応急復旧活動、土砂・流木処理・除雪対応、救助活動、防疫活動等

◆防災支援活動

自治体等との防災訓練の実施・協力、各種パトロール活動、消防団活動等

◆地域活性化への取組

まちづくりや地域イベントへの協力、建設企業活動等を通じた快適な地域生活の創出や雇用の確保等地域活性化に向けた活動等

◆環境美化・保全活動

河川・道路等の清掃活動、森林・公園等の環境美化・保全活動、植林・植樹・植栽、ビオトープ等

◆社会福祉活動

献血活動、社会福祉施設等への協力活動、子ども110番、地域パトロール等の防犯活動等

◆SDGsへの取組

SDGs宣言等を行い、SDGs達成に資する優れた取組等

◆その他

その他社会貢献に資する活動

○ 広報功労者表彰

◆建設業ふれあい活動

親子現場見学会の開催、建設機械試乗体験、児童を対象とした工作・木工・絵画教室等の実施、建設フェアの開催等

◆SNS、映像、各種メディアの活用による広報活動

SNSを活用した広報活動、テレビ・ラジオ番組への出演等

◆広報ツール、アイテムの活用による広報活動

キャッチコピー、オリジナルキャラクターの設定、配布物等による広報活動等

◆商業広告による広報活動

テレビ・ラジオCMの作成、電車やバス、駅等へのポスター掲示、その他広告の掲載等

2. 受賞者一覧

■社会貢献・SDGs功労者表彰

[規定第3条関係] 協会・支部 ……15団体

◇災害復旧・防疫活動 災害復旧・防疫活動	一般社団法人 鳥取県西部建設業協会	鳥取県
災害復旧活動	一般社団法人 岩手県建設業協会 大船渡支部	岩手県
	一般社団法人 埼玉県建設業協会 秩父支部	埼玉県
	一般社団法人 新潟県建設業協会 新潟支部	新潟県
防疫活動	一般社団法人 岩手県建設業協会 奥州支部	岩手県
	一般社団法人 埼玉県建設業協会 比企支部	埼玉県
	一般社団法人 千葉県建設業協会	千葉県
	一般社団法人 新潟県建設業協会 新発田支部	新潟県
	一般社団法人 美濃建設業協会	岐阜県
	延岡地区建設業協会	宮崎県
	日向地区建設業協会	宮崎県
◇防災支援活動	一般社団法人 栃木県建設業協会 鹿沼支部	栃木県
◇環境美化・保全活動	一般社団法人 栃木県建設業協会 日光支部	栃木県
◇社会福祉活動	一般社団法人 岩手県建設業協会 北上支部	岩手県
	一般社団法人 茨城県建設業協会 常総支部	茨城県

〔規定第4条関係〕 会員企業 ……20社

◇災害復旧・防疫活動 災害復旧活動	株式会社 斉藤組	富山県
	株式会社 祁答院土木	鹿児島県
◇地域活性化への取組	株式会社 山藤建設	鹿児島県
◇環境美化・保全活動	丸彦渡辺建設 株式会社	北海道
	熱海建設 株式会社	宮城県
	奥田建設 株式会社	宮城県
	株式会社 本田組	宮城県
	國井建設 株式会社	山形県
	株式会社 乃木鈴建設産業	栃木県
	株式会社 竹島建設	三重県
	株式会社 中和コンストラクション	奈良県
	吉井建設 株式会社	奈良県
	株式会社 富士建設	鹿児島県
	株式会社 藤井建設	鹿児島県
◇社会福祉活動	佐藤工業 株式会社	福島県
	株式会社 栗山組	岐阜県
	建設ボランティアクラブ富山建友会	富山県
	株式会社 井上工業	滋賀県
	株式会社 三幸工務店	岡山県
◇SDGsへの取組	株式会社 大清	岐阜県

■広報功労者表彰

〔規定第3条関係〕 協会・支部 ……4団体

◇建設業ふれあい活動	一般社団法人 青森県建設業協会 東青支部	青森県
	一般社団法人 青森県建設業協会 下北支部 青年部会	青森県
	一般社団法人 岩手県建設業協会	岩手県
	富山県建設業協会 魚津支部青年部会	富山県

〔規定第4条関係〕 会員企業 ……10社

◇建設業ふれあい活動	光建設 株式会社	福島県
	越野建設 株式会社	東京都
	株式会社 長瀬土建	岐阜県
	株式会社 藤井組	富山県
	松嶋建設 株式会社	富山県
	株式会社 辻広組	福井県
	鳥羽建設 株式会社	滋賀県
	株式会社 ミヤベ	山口県
◇広報ツール、アイテムの 活用による広報活動	寿建設 株式会社	福島県
	宇都宮土建工業 株式会社	栃木県

3. 受賞事例概要

社会貢献・SDGs事例概要 《第3条(協会・支部)》

鳥インフルエンザ防疫活動及び鳥根県東部を震源とする地震に係る応急復旧活動・被災住宅支援活動

災害復旧・防疫活動【災害復旧・防疫活動】

一般社団法人 鳥取県西部建設業協会（鳥取）

令和7年12月に発生した高病原性鳥インフルエンザに際し、県との協定に基づき、約7.5万羽の埋却用溝の掘削、埋却シート張り、処分鶏の運搬・埋却作業に従事した。その結果、処分鶏や鶏糞などの汚染物品を短期間で全て埋却し、鳥インフルエンザの封じ込めに貢献した。

また、令和8年1月に鳥取県・島根県で発生した最大震度5強の地震では、境港市の漁港岸壁や臨港道路の沈下、農地で液状化などの被害が発生し、県との協定に基づき、境漁港の機能維持のため、迅速に応急復旧作業を実施した。さらに、米子市等の住宅被害への対応として、発生翌日には住宅修繕等に関する相談窓口を設置し、相談員を派遣して被災住宅の相談対応を行った。加えて、関係団体と連携し、ブルーシートによる漏水対策や修繕業者の紹介など、被災者支援にも積極的に取り組んだ。



大船渡市大規模林野火災における災害復旧支援活動

災害復旧・防疫活動【災害復旧活動】

一般社団法人 岩手県建設業協会 大船渡支部（岩手）

令和7年2月に発生した大船渡市の大規模林野火災では、市との協定に基づき、支部および気仙地方森林組合と連携し、発生直後から被害拡大防止と住民の安全確保に向け多岐にわたる対応を行った。

翌日には給水車・散水車の確保要請を受け、近隣リース会社へ直ちに手配し、県外分を含む15台を確保した。漁港水門発電機への燃料供給、倒木危険箇所の踏査と夜間伐採、現地パトロールによる状況判断など、迅速かつ的確に対応した。

鎮火後も安全知識講習会を開催するなど危機管理体制を強化したほか、裏山の土砂流出通報に対して踏査・報告を行い、関係機関の対応につなげるなど、災害拡大防止と住民の安全確保に寄与した。

建設業者ならではの迅速な対応と機動力により、林野火災対応において大きな役割を果たした。



一般国道140号の落石への応急対応

災害復旧・防疫活動【災害復旧活動】

一般社団法人 埼玉県建設業協会 秩父支部（埼玉）

令和7年7月に一般国道140号で発生した落石事故に際し、県との災害協定に基づき支部会員が緊急出動し、交通規制施設の設置や交通誘導を行い、通行車両の安全確保に努めた。

迂回路が狭小で利便性が低く、落石対策工事が長期化する見込みであったことから、県は建設中の大滝トンネルを路盤の状況で暫定通行させる方針を決定した。これを受け、支部会員は連携して路盤整正を最優先で実施し、昼夜を問わない施工により早期の暫定供用を実現した。

これにより埼玉・山梨両県間の交通は速やかに回復し、地域の生活・物流への影響を大幅に緩和した。暫定供用後も路盤の劣化に対応し、継続的な維持管理を行った。

さらに9月には隣接区域で再度落石が発生したが、トンネル迂回により重大事故を防止できた。

支部会員は県の指導のもと安全対策工事や細かい交通誘導に努め、工期短縮と復旧に大きく貢献した。



令和8年豪雪の広域的な除排雪支援活動

災害復旧・防疫活動【災害復旧活動】

一般社団法人 新潟県建設業協会 新潟支部（新潟）

令和8年2月、県内は上・中越を中心に記録的な大雪となり、県民生活に甚大な被害が発生した。

特に中越地方の降雪が極めて激しかったため、県は小千谷維持管理事務所のみでは早期復旧が困難と判断し、災害協定に基づき、広域応援支援の要請を行った。

それを受けて降積雪状況を踏まえ、支部会員からオペレーター付き10トンドンプトラック延べ75台を派遣し、直ちに車道・歩道確保のため堆雪箇所の除排雪作業に取り掛かった。

地域住民の交通手段確保を最優先に、会員企業が丸ごと作業を進め、7日間で事故なく復旧を完了し、県民生活の安全・安心に大きく寄与した。



鳥インフルエンザ防疫活動

災害復旧・防疫活動【防疫活動】

一般社団法人 岩手県建設業協会 奥州支部（岩手）

令和8年2月、岩手県金ケ崎町で高病原性鳥インフルエンザが発生し、感染拡大防止のため迅速な防疫対応が求められたため、県との協定に基づき、奥州支部は人員及び重機を速やかに確保し、埋設溝の掘削、約56万羽の殺処分した鶏の運搬・埋却作業を実施した。

これらの活動により、防疫措置の迅速な実施と感染拡大防止に大きく貢献し、地域の安全・安心の確保に寄与した。



高病原性鳥インフルエンザ防疫活動

災害復旧・防疫活動【防疫活動】

一般社団法人 埼玉県建設業協会 比企支部（埼玉）

令和7年12月、埼玉県嵐山町で発生した高病原性鳥インフルエンザにおいて、県との協定に基づき、比企支部は防疫活動に従事した。

年末年始という休暇期間中にもかかわらず、迅速に人員・機材を確保し、24時間交代体制で鶏体の回収・運搬や防疫資機材の搬入・搬出を実施した。

その結果、採卵鶏約24万羽が対象となる県内最大級の防疫措置を、県職員等と連携しながら当初計画の半分の日程で完了させ、感染拡大防止に大きく貢献した。



2年連続発生鳥インフルエンザ発生に伴う防疫活動

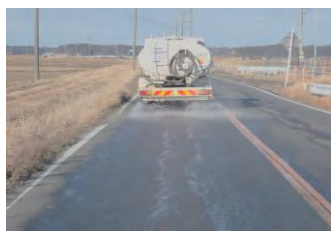
災害復旧・防疫活動【防疫活動】

一般社団法人 千葉県建設業協会（千葉）

令和8年1月と2月に旭市で連続発生した高病原性鳥インフルエンザにおいて、県との協定に基づき、迅速に防疫体制を整え、現地調査、掘削・埋却作業、路面消毒などの防疫対応を実施した。

処分対象となったうずら約10万羽、採卵鶏・育成鶏約8万羽の防疫措置に尽力し、感染拡大防止と地域の安全確保に貢献した。

八日市場支部会員は2年連続で大規模な鳥インフルエンザ防疫対応に従事し、地域建設業の高い機動力と社会的役割を示したことから、県農林水産部長より謝意が表された。



鳥インフルエンザの防疫支援活動

災害復旧・防疫活動【防疫活動】

一般社団法人 新潟県建設業協会 新発田支部（新潟）

令和7年11月、胎内市の養鶏場で発生した高病原性鳥インフルエンザにおいて、県との災害協定に基づく要請を受け、埋却地の整備や重機の手配、殺処分鶏の運搬・埋却作業に従事した。

多くの建設機械・資機材を投入して24時間体制で防疫対応を実施した結果、約63万羽の殺処分や消毒ポイントの設置等の防疫措置を円滑に完了させ、感染拡大防止と地域の安全・安心の確保に大きく貢献した。



高病原性鳥インフルエンザ防疫活動

災害復旧・防疫活動【防疫活動】

一般社団法人 美濃建設業協会（岐阜）

令和8年1月、関市で高病原性鳥インフルエンザが発生した際に、防疫方針が定まらない中、県との協定に基づき、埋却作業に向けた準備を進め、県との連絡調整を密に行った。

方針決定後は、積雪や厳冬期の降雪という環境下でありながら、迅速かつ確実に作業を進め、ほぼ1日（24時間）で約2万羽の埋却業務を完遂した。

この迅速な対応は、県民の健康を守るだけでなく、食料供給の維持や地域経済への影響を最小限に抑え、社会全体の安全・安心の確保に大きく寄与した。



鳥インフルエンザに係る防疫活動

災害復旧・防疫活動【防疫活動】

延岡地区建設業協会（宮崎）

令和8年1月、延岡市で鳥インフルエンザが発生し、延岡地区建設業協会は県との協定に基づき、迅速に防疫活動に務めた。

発生からの5日間で約6千羽を2社延べ15名が出動し、埋却作業を実施した。



鳥インフルエンザに係る防疫活動

災害復旧・防疫活動【防疫活動】

日向地区建設業協会（宮崎）

令和7年11月、日向市で鳥インフルエンザが発生し、日向地区建設業協会は県との協定に基づき、迅速に防疫活動に務めた。

発生からの4日間で約4.8万羽を20社延べ64名が出動し、埋却作業を実施した。



水防訓練および情報伝達訓練の実施

防災支援活動

一般社団法人 栃木県建設業協会 鹿沼支部（栃木）

地域における特定家畜伝染病の対策として関係機関・団体が集まり、毎年、現地連絡会議および家畜防疫演習に参加している。これらの活動を通じて消毒ポイントの状況、初動防疫体制や措置の手順等について確認を行い、他機関との連携を図っている。

また、水防協力団体水防訓練へ参加し、土のう作成や積土のう訓練等により災害時に迅速に対応できるよう備えている。

さらに、関係機関との情報収集及び共有が迅速に行えるよう「道路河川等管理情報システム伝達訓練」を毎年実施し、初動対応力の向上に努めている。



「日光杉並木植樹400年」を記念した並木道清掃

環境美化・保全活動

一般社団法人 栃木県建設業協会 日光支部（栃木）

平成7年から「クリーンアップキャンペーン」を実施しており、同15年からは県日光土木事務所および日光市の協力を得て、今年で31回目を迎えた。

令和7年は、日光杉並木が植樹されてから400年の節目にあたり、キャンペーン後に開催される「日光杉並木植樹400年記念杉並木ウォーク」に合わせ、国道119号日光杉並木街道の延べ3kmを3区間に分けて清掃活動を行った。

日光杉並木街道は、日本で唯一、国の特別史跡と特別天然記念物の二重指定を受けている貴重な文化財であり、その先には世界遺産の日光東照宮、輪王寺、日光二荒山神社が位置する。

地元住民や観光客が快適に並木道を利用し、歴史と文化を体感できるよう、地域の美化と環境保全に努めている。



除雪ボランティア活動

社会福祉活動

一般社団法人 岩手県建設業協会 北上支部（岩手）

今年度は、令和8年2月を活動期間として、北上市内の独居高齢者等の住宅を対象に、除雪ボランティア活動を実施した。

本活動は、北上市職員互助会および北上地区消防組合職員互助会と合同で平成12年から毎年実施しており、今回で27回目を迎えた。

人口減少や高齢化が進む中、「地域除雪」の担い手が不足している状況を踏まえ、地域での支え合いと協働のまちづくりの貢献を目的として今後も活動を継続していく。



継続的な献血活動

社会福祉活動

一般社団法人 茨城県建設業協会 常総支部（茨城）

平成16年度より地域貢献活動の一環として支部会員を対象に献血活動を継続しており、令和7年は6月に実施した。

毎年、献血車2台を配置し100名以上の協力を得ながら活動を継続している。

こうした長年の取り組みが評価され、日本赤十字社から平成22年および平成27年に感謝状が授与され、令和6年には連続20回以上の活動が認められ金色有功章を受章した。

加えて、令和7年には県知事より感謝状が贈呈され、献血活動への貢献が高く評価された。



一般国道156号下原ロックシェッド内流入土砂撤去

災害復旧・防疫活動【災害復旧活動】

株式会社 斉藤組（富山）

令和7年9月の豪雨により、国道156号で土砂崩壊による通行止めが発生したため、県との災害協定に基づき迅速に出動し、土砂撤去や流入防止対策を実施した。

タイヤショベルによる重機作業と人力を併用して、国道上に堆積した土砂の除去を効率的に進め、約3日間という短期間での復旧を完了し、国道の早期交通開放と被害拡大防止に大きく貢献した。



災害復旧活動

災害復旧・防疫活動【災害復旧活動】

株式会社 祁答院土木（鹿児島）

令和7年8月の記録的豪雨により、始良市を中心に道路陥没や土砂崩れが発生し道路が寸断されたため、24世帯43人が孤立状態となった。

そこで県より、被害の少ない薩摩川内市側から復旧させ、孤立している住民の早急なライフラインの確保を要請されたため、早朝から夜間まで作業を行い、県道を通行可能な状態へ復旧させ、ライフラインの確保を完了させた。

この迅速な災害復旧の貢献が大きく評価され、同年12月に県北薩地域振興局建設部長より感謝状が授与された。



網掛川復興臨時通り会

地域活性化への取組

株式会社 山藤建設（鹿児島）

令和7年8月、始良市では線状降水帯により大規模災害が発生し、網掛川の護岸崩落や網掛橋の損壊による通行止めなど、地域に深刻な影響が及んだ。

そこで、平時から取り組んでいるSNSでの情報発信を活かし、災害状況や復旧工事の進捗を迅速に発信したところ、その継続的な情報提供は、通行止めで苦境に立つ地元店舗への応援にも繋がった。

その後、地域からの相談を受け、「網掛橋復興臨時通り会」の発足メンバーとして参画することとなり、復興の象徴となる黄色いのぼり旗のPRや、SNSフォトコンテストなどの広報活動を主導した。

これらの活動は、地元マスコミ、始良市、商工会、高校生など多くの関係者を巻き込む取組へと発展し、網掛橋の通行再開の日には市や国道事務所の協力の下、橋上で盛大なセレモニーが開催されるなど、多くの人々の関心と協力を集めた。



町内会への花苗寄附及び花植え活動

環境美化・保全活動

丸彦渡辺建設 株式会社（北海道）

平成25年より町内会の花植え活動に参画し、毎年1,000株の花苗の寄附と花壇整備を継続して行っている。

令和7年度は役職員30名が参加。マリールゴールドやパチュニア計1,000株を用意し400株を植栽した。残りの600株については町内会へ託し、地域の景観美化に貢献した。

今後も、環境美化活動を通じて地域との交流を深めるとともに、住みよいまちづくりに主体的に取り組んでいく。



道路清掃ボランティア活動

環境美化・保全活動

熱海建設 株式会社（宮城）

平成20年に仙台河川国道事務所および仙台市と「ボランティア・サポート・プログラム」協定を締結し、約17年にわたり道路清掃等の活動を継続している。

当初は国道48号で活動を開始し、本社移転後は国道45号へ活動場所を移して、地域の環境美化や快適な道路環境の形成に貢献してきた。

清掃活動を通じて社員の環境意識向上や地域の美化意識の醸成に寄与するとともに、建設業で培った知識を活かして道路の異常にも注意を払うことで、安全・安心な道路環境の確保にも貢献している。

これら長年にわたる地域貢献活動が評価され、令和7年には「道路愛護活動表彰」が授与された。



清掃ボランティア活動

環境美化・保全活動

奥田建設 株式会社（宮城）

地域社会への貢献を企業活動の重要な使命の一つと位置づけ、平成17年より春の清掃活動を継続して実施している。

活動当初は、会社周辺地域で開始した活動を、その後、大崎市や丸森町など県内各地へ範囲を広げ、社員が主体となつて、道路・河川・歩道等の清掃に取り組んでいる。

約20年にわたる継続的な活動は、地域の生活環境の向上と美化意識の醸成を目的として、社員の社会貢献意識の醸成に寄与するとともに地域に根差した環境美化活動として定着している。



阿武隈川の清掃美化運動

環境美化・保全活動

株式会社 本田組（宮城）

平成17年より阿武隈川清掃美化運動には後援団体として登録し、毎年の清掃活動に全社を挙げて参加している。

活動では、ショベルやダンプなどの重機を持ち込み、河原に埋まったタイヤの掘り起こしや、ごみの運搬、集積された粗大ごみの搬出まで積極的に実施し、環境美化・保全活動を継続している。

さらに、現場事務所前にプランターや草花を設置し、作業員の休憩時の癒しの場を創出するとともに、地域住民に対して建設現場のイメージ向上に繋がるよう周辺環境の美化にも取り組んでいる。



ふれあいの道路愛護活動

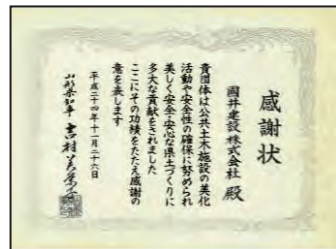
環境美化・保全活動

国井建設 株式会社（山形）

平成8年より主要地方道天童大江線において、毎月1日に社員全員による沿道美化活動を継続して実施している。

令和7年度も4月から10月まで計7回、延べ281名が参加し、約2.2km区間の空き缶・空き瓶、紙屑等の回収を中心とした清掃活動を実施した。

安全朝礼後に全社員で行う体制を確立し、長年にわたり一度も途切れることなく継続しているこの活動は、近年、ごみの量が減少しており、長期にわたる継続性が地域住民からも高く評価されている。



継続的な環境保全の取組

環境美化・保全活動

株式会社 乃木鈴建設産業（栃木）

平成12年より開始された「愛ロードとちぎ」事業では、毎月第2金曜日に道路清掃等の美化活動を継続して実施しており、その取組が評価され、令和元年度と6年度に県知事より感謝状が授与された。

また、平成23年に登録した小山市の「緑とあかりの里親」制度においても、毎月の道路美化活動を通じて、安全・安心な道路環境の維持に努めている。

さらに、「おやまグリーン・アクションサポート団体」として、渡良瀬遊水地のクリーン作戦や外来植物除去作戦などにも継続して参加し、その取組が評価され、令和5年度から3年連続で小山市長より感謝状が授与された。



通学路の草木除去・清掃活動

環境美化・保全活動

株式会社 竹島建設（三重）

阿山中学校の生徒が日常的に利用する重要な通学路が、草木が繁殖して安全な通行に支障をきたしていたため、生徒が安心して通学できる環境を整えるため、過去4年間にわたり継続して約2km区間の草木除去や空き缶回収等の清掃ボランティア活動を実施している。

除去した草木は当社施設で自然堆肥化し、空き缶やごみなどの廃棄物は適正に処理するなど、建設業の専門性を活かして環境に配慮した取組を進めている。

こうした活動により、通学路の環境美化や安全確保に寄するだけでなく、地域住民や学校関係者との信頼形成にも繋がっている。



社員ボランティアによる清掃活動

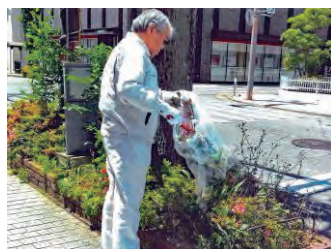
環境美化・保全活動

株式会社 中和コンストラクション（奈良）

平成22年より毎年継続して、実施場所や時期を変更しながら本社周辺の環境美化活動を実施している。休日にボランティアとして行っているが全社員の半数以上が参加している。

また、平成27年からは地域の小学校と県立高校とも協賛し、地域清掃活動に毎年参加するなど地域とのつながりを深めている。

さらに、令和6年からは新入社員が活動の企画・運営を担うことで、先輩に段取りを教わりながら、地域に生かされている地域建設業であることを学んでいる。



葛城市内一斉清掃に合わせた美化清掃活動

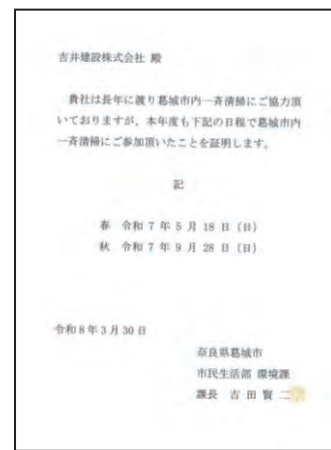
環境美化・保全活動

吉井建設 株式会社（奈良）

長年にわたり、年2回春と秋に実施される葛城市内の一斉清掃に合わせて、環境美化活動を実施している。

一斉清掃では、地域の美化清掃活動だけではなく建設業の強みを活かし、率先して無償でダンプトラックや人員を派遣し、廃棄物の運搬等にも協力している。また、市環境課や組長らと打合せを行い、地域に寄り添った活動を提案している。

これらの継続的な取り組みが評価され、市から感謝状が授与された。



道路環境美化活動

環境美化・保全活動

株式会社 富士建設（鹿児島）

例年5月から6月の間と10月から11月の間に、国道268号の歩道植樹帯へ花植え活動を実施している。施肥やマルチングを行い、花がより長くきれいに咲き続けるよう工夫を施しながら、約7年継続して取り組んでいる。

季節ごとにふさわしい景観をつくり出すことを目指し、地域の人々が心地よく過ごせる道路環境づくりに努めている。



ウナギの稚魚放流と河川清掃美化活動

環境美化・保全活動

株式会社 藤井建設（鹿児島）

川内川において地域住民とともにウナギの稚魚放流を実施し、地域住民とコミュニケーションをはかり、土木事業が地域の生活環境を守りながら生命と財産を守る重要な事業であることを周知している。大人だけでなく子どもも参加し、将来の担い手に土木事業の魅力を広める機会となった。

また、伊佐市のカヌー競技場付近の川内川堤防および高水敷の除草清掃活動を実施し、競技者が安全に練習できる環境づくりに貢献している。この活動により、競技者を介して当地がカヌー競技場として全国に広く認知される一端を担うことができた。



継続的な献血推進活動

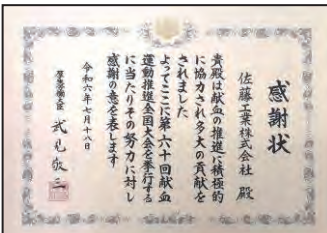
社会福祉活動

佐藤工業 株式会社（福島）

社会貢献活動の一環として、毎年献血者が少ない冬場（2月）に献血活動を実施している。平成8年に社員のみで開始し、同22年以降は協賛会社や地域住民にも参加を呼び掛け、活動を拡大した。同24年度からは毎年欠かさず開催し、社の重要な行事として定着している。コロナ禍（令和3～5年）は感染症対策のため血液センターで実施したが、令和6年からは本社駐車場での開催を再開した。

血液センターの協力のもと採血車2台を配置し、令和8年2月には99名が献血を行った。

これらの継続的な取り組みが評価され、令和元年には県知事、令和6年には厚生労働大臣から感謝状が授与された。



障がいのある方の作品を建設現場に展示

社会福祉活動

株式会社 栗山組（岐阜）

令和3年より、県障がい者芸術文化支援センター（TASCぎふ）と協力し、障がいのある方の作品を建設現場の養生シートにプリントし、展示する活動を実施している。

これまで22作品を各現場で展示し、施工期間中に地域住民へ作品を楽しんでもらうことで障がい者の社会参加を支援するとともに、建設現場の明るいイメージ向上に努めている。

この活動により、地域社会への貢献とともに建設業のPRにも繋げることができた。



献血活動

社会福祉活動

建設ボランティアクラブ富山建友会（富山）

富山市内の建設業者21社で構成されるボランティアクラブ「富山建友会」（会員の約9割が県建設業協会会員）では、県赤十字血液センターと協力し、年度末の血液不足解消の一助となるよう平成18年から継続して献血活動を実施し、令和8年3月には153人が献血に協力した。

今後も地域社会への貢献活動の一環として、この取組を継続していく。



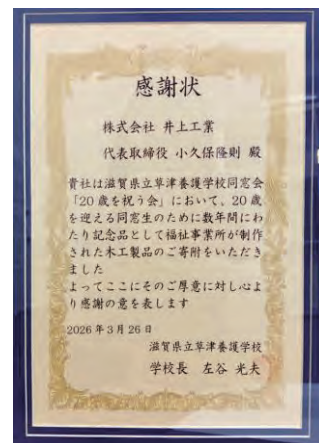
市内小学校卒業生への記念品贈呈、 草津養護学校同窓生20歳の記念品贈呈

社会福祉活動

株式会社 井上工業（滋賀）

令和元年度より、教育環境の充実のため、草津市内すべての小学校卒業生を対象に卒業記念品として文房具を贈呈している。

また、令和2年度より、県立草津養護学校が毎年開催している「同窓生20歳を祝う会」において、同校卒業生が働く就労施設で製作された品を購入し、記念品として贈呈している。



幼稚園・保育園・こども園への絵本寄贈活動

社会福祉活動

株式会社 三幸工務店（岡山）

令和元年より、本社所在地学区内の幼稚園・保育園への絵本寄贈活動を開始し、今年で7年目を迎えた。これまでの累計寄贈冊数は1,534冊となり、継続的な地域貢献活動として園関係者の皆様から感謝の声をいただいている。

今後も地域に根ざす企業として、子どもたちの「学び」と「成長」に貢献できる活動をさらに拡大していく。



「わがまちの良いところ、好きなところ」 横断幕プロジェクト

SDGsへの取組

株式会社 大光（岐阜）

令和2年7月豪雨により甚大な被害を受けた県道437号湯屋温泉線では、法面崩壊の復旧と道路拡幅工事において、小坂中学校の生徒と協働し「わがまちの良いところ、好きなところ」横断幕を同3年から継続して制作・掲示している。

深刻な過疎化が進む小坂町では、約7年ごとに約500人が減少しており、地域の活力維持が大きな課題となっている。

SDGs目標11が示す「住み続けられるまちづくり」の真意は、ハードの整備にとどまらなないと考え、次世代を担う子どもたちが郷土に誇りと愛着を持つところを持続可能性の基盤であるとの信念から、被災現場を「地域の宝物を発信するギャラリー」へと再生し、郷土愛を育む挑戦を続けている。

同路線は地域住民の生活道路であり、観光ルートでもあるため、地域の誇りとも言える観光地への道を「守り、彩る」使命感をもって本プロジェクトを主導した。



地元就職促進の取組

建設業ふれあい活動

一般社団法人 青森県建設業協会 東青支部（青森）

地元就職促進のため、平成30年より若者との交流会を開催しているが地元工業高校の県内就職率は3～4割で改善が見られなかった。

コロナ禍では企業紹介集やガイドブックで情報発信を継続し、令和4年に交流会を再開。若手による作業服デザイン企画などイメージ刷新にも取り組んだが、就職状況は大きく変わらず、学校関係者と協議して生徒目線の新たな交流会を検討した。

従来の一方向型面談を改め、双方向の「車座トーク」を導入したところアンケート満足度が高く、ものづくりの魅力や技術者の熱意に触れ将来像が見えたとの声もあった。卒業生向け冊子配布も行い、令和8年卒予定者では県内就職が6～7割へと改善が見られた。

今後も保護者参加や大学生との交流など課題に対応しつつ、地元就職促進に取り組んでいく。



MGF (Mutsu Glamorous Festival) での重機体験会

建設業ふれあい活動

一般社団法人 青森県建設業協会 下北支部 青年部会（青森）

令和5年に「産業まつり」から名称を改めた「MGF (Mutsu Glamorous Festival)」へ出展を再開し、建設重機の試乗・操作体験、ミニショベルカーくじ引き、重機トミカの無料配布、スコップお菓子すくい、VRによるバックホウ操作体験など、多彩な企画を実施している。令和7年度は2日間で親子連れを中心に延べ約600名が来場した。

従来「きつい・きたない・きけん」と言われた建設業は、近年「新3K」へと変わりつつあり、働きやすい環境が整備されてきている。子どもや保護者を対象に重機体験等を通じて、建設業の魅力を肌で感じてもらえるよう、今後も継続して取り組んでいく。



いわて建設業みらいフォーラム

建設業ふれあい活動

一般社団法人 岩手県建設業協会（岩手）

平成25年より県と共催で、社会基盤の復興や整備、日常の維持修繕を通じて、建設業の重要性や魅力を発信するとともに、若者を中心とした県民の建設業への理解促進を目的として「いわて建設業みらいフォーラム」を開催している。

令和7年は10月に盛岡市内で開催し、県内工業高校や産業短期大学の生徒・学生など428名が参加した。

イベントでは、若手技術者や女性職員によるパネルディスカッションを行い、建設業の働き方や最新技術、仕事の魅力ややりがいなどについて紹介するとともに、参加者からの質問に答えることで、建設業への理解と関心を深めた。

また、建設関連企業・団体によるブース出展では、仕事内容や企業の魅力を発信し、建設業が社会を支える幅広い産業であることを伝え、将来の担い手確保や建設業のイメージアップにつなげた。



出前講座「建設ワークショップ」の実施

建設業ふれあい活動

富山県建設業協会 魚津支部青年部会（富山）

中学生の職業体験学習である「14歳の挑戦」に合わせ、令和5年度から建設業の役割や仕事の魅力を伝え、将来の進路選択や就職先としての理解醸成を目的に、出前講座「建設ワークショップ」を実施している。

開始当初は、建設業の仕事内容や社会的役割、やりがいなどを座学で伝えていたが、同6年度には現場見学を取り入れ、同7年度には建設機械シミュレーターやドローン操作などの体験型プログラムを実施し、建設業のデジタル化や技術の進化を実感できる内容へ発展させている。

今後も建設業の魅力を発信し、地域を支える将来の担い手育成に取り組んでいく。



建設業の地域ふれあい運動

建設業ふれあい活動

光建設 株式会社（福島）

令和元年より、子どもや保護者を対象とした建設業の仕事体験イベントを行っている。建設業へふれあう機会として、市で開催されるイベントに多数参画し、カンナ削り体験や木工作品づくり、ミニ住宅建て方体験、重機試乗などを実施している。

木材や建築道具に触れられる体験の場を提供することで、子どもから大人まで楽しみながら大工仕事や建設業への理解を深めてもらい、建設業の魅力発信と地域貢献につながる活動を継続している。



小学生の防災学習
中学生(受験生)へ貫通石のお守りを贈呈

建設業ふれあい活動

株式会社 長瀬土建（岐阜）

令和4年より、地域の未来を担う子どもたちの安全意識を育てるため、地元小学校と連携し、4年生を対象とした防災教室を実施している。

社員が講師となって、地球温暖化と自然災害の因果関係をはじめ、防災の基礎知識を講義するとともに、国や県の災害復旧や防災施設設置の現場見学を行っている。さらに、出前講座や職業体験、インターンシップを受入れ、楽しみながら学んでもらえるような工夫をしている。

また、中学3年の受験生には、トンネル工事で最後の壁を破って貫通した際に出てくる石（貫通石）を活用した「貫通石のお守り」の贈呈も10年以上実施している。

地域社会と連携しながら、地域の子どものための教育を支援するとともに、安心・安全な地域づくりに貢献している。



「コンクリートの日 体験まつり！」
～めったにできない体験を子どもたちにプレゼント～

建設業ふれあい活動

越野建設 株式会社（東京）

「コンクリートの日体験まつり！」は、11月15日の「生コンクリート記念日」にちなみ、未来を担う子どもたちへコンクリートや建築の魅力を伝えることを目的として、平成23年より全社員と協力会社による実行委員会が手作りで開催している。

コンクリートに触る体験や手形づくり、ミキサー車への試乗体験や振動機体験などを通じて、子どもたちに「めったにできない体験」を提供している。

イベントは地域に楽しさを提供すると同時に、子どもと保護者が建設業への理解を深める機会となり、社員と地域住民の交流の場としても機能している。



中学生を対象とした職場体験学習

建設業ふれあい活動

株式会社 藤井組（富山）

県内の中学生を対象に行われている職場体験学習事業「14歳の挑戦」を、平成18年から継続して実施している。

5日間の職場体験では、現場見学や測量、建設機械の試乗、ドローン操縦などを行い、地域の将来を担う中学生が建設業の仕事や重要性、技術者の仕事内容を理解する機会となっている。

生徒からは「建設業のイメージが変わった」「建設業の大切さが分かった」と好評を得て、建設業への理解促進や将来の進路を考えるきっかけにもなっており、本活動を通じて実際に入社した社員も数名いて、地域の未来を担う人材育成にもつながっている。

今後も建設業の魅力ややりがいを伝える活動として継続していく。



ICT技術を活用した体験型プログラミング出前授業の実施

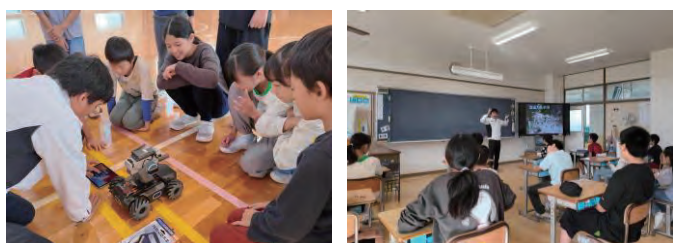
建設業ふれあい活動

松嶋建設 株式会社（富山）

次世代を担う子どもたちに建設業が最新のデジタル技術を駆使して、地域を守るスマートな産業であることを伝えるため、地元の小学校に出前授業を実施している。

平成30年より毎年継続して実施しており、建設現場におけるドローン活用やICT施工について、地元のインフラ工事を例に紹介するとともに、プログラミングロボットを用いた体験学習や測定体験を通じて、楽しみながら学ぶ機会を提供している。

出前授業を通じて、ICT技術への関心から建設業を「カッコいい」「面白い」と感じる児童が増加したことで地域教育の充実に寄与するとともに、地域住民（子供、保護者、学校）との新たな接点を創出することにも繋がっている。



こども園来訪による重機体験会の開催

建設業ふれあい活動

株式会社 辻広組（福井）

地域社会への貢献と次世代への建設業の理解促進を目的に、こども園等を訪問して「重機体験会」を実施している。

平成29年より継続して取り組んでおり、累計100回以上、延べ約3,000人に達している。

本活動では、建設機械の体験やクイズ、劇などを交えて、園児が楽しみながら建設業への理解を深められるようにしている。また、新入社員が企画・運営を主体的に行うことで、人材育成の場としても活用している。

また、地域に根差した継続的な活動として、毎年テレビ等の地域報道機関にも取り上げられ、建設業の役割や魅力を広く発信する機会となっている。



現場見学会およびSNS等による広報活動

建設業ふれあい活動

鳥羽建設 株式会社（滋賀）

近隣の保育園・こども園を対象に、平成28年より毎年、現場見学会や重機試乗体験を実施し、建設現場への理解促進と建設業への関心向上を図っている。

また、橋梁補修・補強工事や塗装塗替工事の様子をSNSで発信し、建設業の魅力や現場の役割を広く伝えることで、将来の担い手確保にもつなげている。

これらの活動を通じて地域住民との交流や連携を深め、建設業のイメージ向上と地域活性化に貢献している。



中高生へ建設業の魅力を伝える出前授業

建設業ふれあい活動

株式会社 ミヤベ（山口）

県では産官学連携の「山口県地域を支える建設産業担い手確保・育成協議会」を平成26年度に設置し、様々な人材確保対策を実施している。

その事業の一環として、中高生生向けに建設業への魅力を伝える出前授業「建設ゼミナール」を平成26年度から令和7年度まで12年間にわたり実施している。

この「建設ゼミナール」において積極的に講師を多く務め、長期にわたって中高生の生徒たちへ現場の生の声で建設業の魅力を伝えている。



オリジナル重機イラストカレンダー制作

広報ツール、アイテムの活用による広報活動

寿建設 株式会社（福島）

令和6年版よりオリジナルカレンダーとして「重機の旅」と題したシリーズで制作を開始し、多くの反響を得ている。

カレンダーのテーマを「かわいい重機イラスト」とし、堅いイメージの重機を柔らかく、シンプルかつユーモアを交えて表現。壁掛け・卓上の両方で使用でき、使用後はポストカードとして活用できる仕様にするなど工夫も施している。

また、SNSを活用したプレゼント企画を実施し、毎年1,000件近くの応募があるなど、子どもを持つ母親世代を中心に、建設業に馴染みの少ない層や海外からも反響があった。

これによりSNSのフォロワー数の増加や、建設業への多くの応援メッセージにつながり、建設業に関心をもってもらうきっかけとなった。

さらに、地元企業と連携してイラスト展を開催して話題となり、印刷会社主催のコンテストでは特別新人賞を受賞するなど、高い評価を得ている。



下水道工事の見える化

広報ツール、アイテムの活用による広報活動

宇都宮土建工業 株式会社（栃木）

大規模な道路陥没工事事故を受けた国の対策検討委員会による「見える化」の提言を踏まえ、市上下水道局発注の公共下水道管きょ耐震化工事において、管きょ内の施工状況を地上から毎日確認できるライブ中継を実施している。

管きょ内に設置した移動式ライブカメラの映像を、地上及び市上下水道局前の大型モニターに表示し、市民が誰でも見られる取組を実施している。

これにより、地中に埋まって伝わりにくい下水道へ興味を持ってもらう機会となり、老朽化対策や耐震化工事の重要性を広く浸透させ、市民の下水道事業への理解促進を図ることができた。

加えて、上下水道局内から全職員がいつでも作業状況を確認できるようにし、双方向通信ができる環境も構築している。





地域建設業は

SDGsの担い手
地域の守り手



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



「地域建設業
SDGs経営指針」に
ついてはこちら



一般社団法人 全国建設業協会／47都道府県建設業協会・公益財団法人 建設業福祉共済団